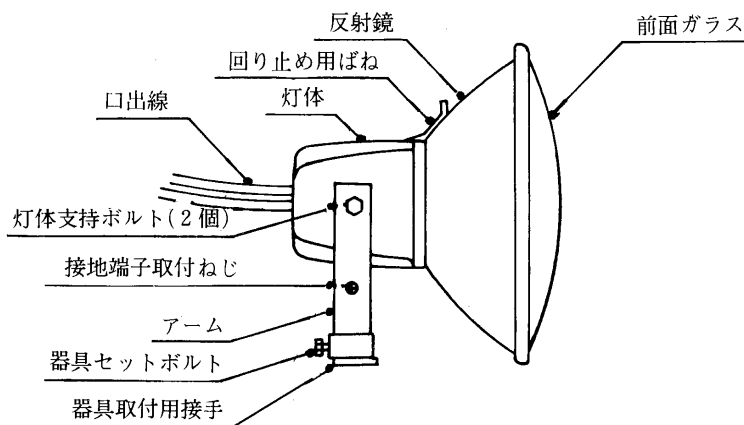


TOSHIBA

東芝ネオハロゲンランプ用投光器取扱説明書 QT-5030N QT-5031N QT-5032N

このたびは、東芝ネオハロゲンランプ用投光器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

各部のなまえ



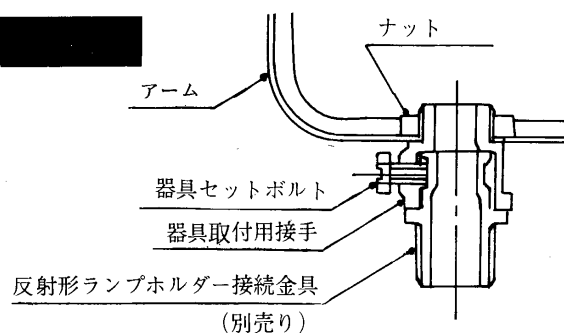
QT-5030N	狭照型
QT-5031N	中照型
QT-5032N	広照型

特にご注意を

- ① 必ず反射形ランプホルダー接続金具を使用し、器具を固定してください。ランプを点灯したまま器具を移動させないでください。
- ② ランプは素手で取り扱わないでください。
取り扱う際は、きれいな乾いた手袋をはめて行なってください。もし、指紋や油などがランプに付いた場合は、アルコールを浸したきれいな布でふきとってください。汚れが付いたまま点灯しますと、汚れがランプに焼き付いてランプの強度が弱くなり、破損の原因となります。
- ③ この器具は、周囲温度が35℃以下の場所でご使用ください。周囲温度が高くと、ランプの寿命が短くなります。
- ④ 器具を物でおおったり、箱状のものの中に入れて使用することはおやめください。
器具の温度が高くなり焼損事故のもとになります。
- ⑤ 器具を振動の強い場所に使用したい場合は、お買いあげの販売店(工事店)、またはお近くの
東芝ライテック株式会社 営業所にご相談ください。
- ⑥ ランプ点灯中や消灯直後の反射鏡・ランプは、高温になっておりますので素手でさわらないでください。
- ⑦ アームに接地端子がありますので、第三種接地工事をしてください。
- ⑧ 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。性能が十分に発揮できないばかりか大変危険です。

器具の取り付けかた

- ① 器具取付用接手を反射形ランプホルダー接続金具(別売り)に取り付けてください。
- ② 器具セットボルトをしっかりと締め付けてください。
- ③ 反射形ランプホルダー接続金具は、用途に応じてお選びください。
(形名 CF-1～CF-11)



お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
一般の方の工事は法で禁じられています。

工事店様へ

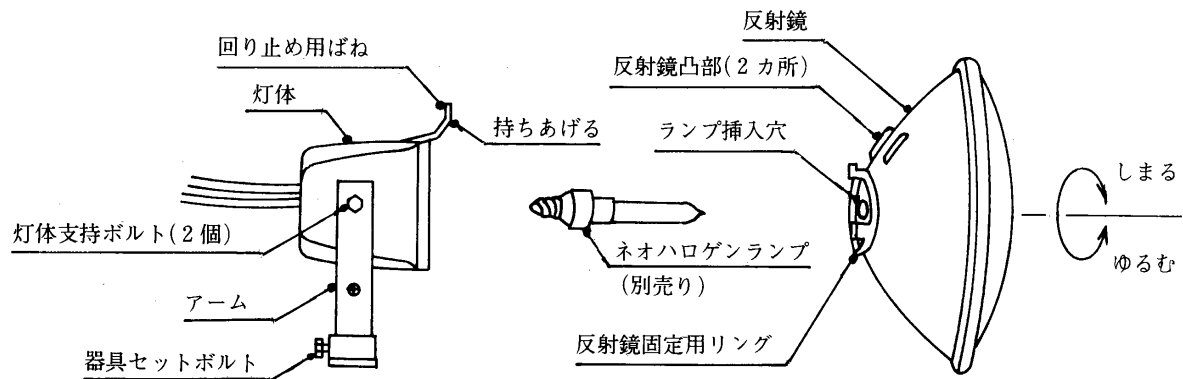
工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。
<生産完了 2004年01月01日>
QT-5032N (T/2)

- ④ 電源線との結線は、圧着端子で接続し絶縁テープを巻いてください。口出線は切断しないで結線してください。
- ⑤ アームの接地端子にアース線を接続してください。

■ランプの取り付けかた

ご使用できるランプは、“東芝ネオハロゲンランプ” 250ワットまたは500ワットです。

- ① 回り止め用ばねを持ちあげながら、反射鏡を左に回して灯体からはずしてください。
(ばねが変形しないように注意してください)
- ② ネオハロゲンランプ(別売り)をソケットにねじ込んでください。
- ③ 反射鏡のランプ挿入穴のふちにランプがあたらないようにして、反射鏡を右に回して取り付けてください。このとき、回り止め用ばねを反射鏡凸部(2ヵ所)の間に確実にに入れてください。

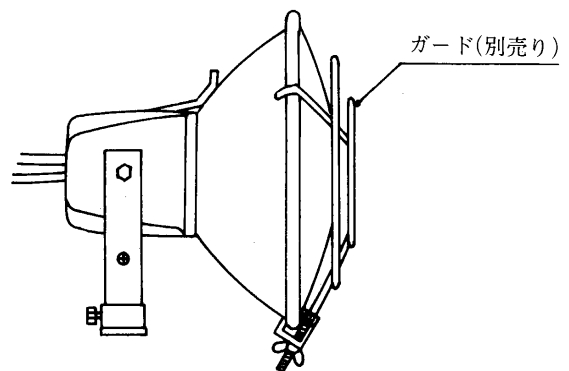


■照射方向の変えかた

- ① 上下方向は、灯体支持ボルト(2個)をゆるめて、照射方向を変えてください。
(ゆるめすぎないように注意してください)
- ② 左右方向は、器具セットボルトをゆるめて、照射方向を変えてください。

■ガードの取り付けかた

取り付けかたについては、ガードの取扱説明書をご覧ください。



■お願い

- ① ランプ着脱に際しては、必ず電源を切り、ランプが冷えてから行なってください。
- ② ランプ交換の際には、“東芝ネオハロゲンランプ” 250ワットまたは500ワットとご指定ください。
- ③ 前面ガラスが汚れた場合には、一般のガラスと同様にクレンザーまたは石けん水で洗ってください。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買上げの販売店(工事店)または東芝ライテック株式会社営業所にご相談ください。

なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買上げ時期をお忘れなくお知らせください。